

1690

明人



宇治川
名戸源

魁村至

四之卷

目録



才一
筆致をわらびてらまくし津の筆角
母の胸中ておみひ垣やきぐ
あらてよし福祥へ余の仇をか
やひちは余の本寫が玄無の間

才二

やてふせニ刀さくひか木の謀
をあて海をりてゆる車の合戦
猪々兜の絆をあらうらすを母の
歎き聲とみづ楊枝筆の浦に住居

才三

作りあわせ金の内孫海の歌
親の歎をうけのすすみれつき
呂ふわりセウ神と刀乃神とじ
とき却す絶の盡のこゑは花立身観

一

箕友とわらびへる清潤の歌

ねの合戦。満車入るにて解は玉よじき。眞教也と
様けふはきひとよめまほの達彦すやすし。あま教也
も。あく小野の事。あ海工彦也。中ひ。安は玉をとむ。す。
鷹の事。とものとまく。は満車入り。お代主の歌
車から。権永ほを。事まく。手兵のち。船ひれ。おれ。兜も
おあれ。と。よし。の姿。も。て。ら。も。こ。縁。に。し。ろ。と。念。
じ。よ。す。と。ば。ほ。う。か。ス。と。う。も。べ。車。や。う。て。も。い。と。ね。
ら。き。よ。の。ま。の。と。こ。ぼ。う。れ。て。こ。ぼ。あ。ひ。こ。ぼ。の。無。い。と。
い。ま。の。一。方。と。わ。ざ。う。歌。ま。方。よ。歌。作。う。と。わ。う。れ。な。べ。
明。ぬ。く。度。う。り。下。し。歌。た。る。山。重。て。歌。た。る。木。を。歌。

せりておらぬ家へゆきをげり。下りて、肩かたみえぞ
入る。作つくの部ぶうち邊へびのとくを冲うくめひとをゆく。
界かいあくべと。のそとほしも。まかの事ことも。かく首湯くびゆの事
あり。はゆる延のす。安民やすみゆめ。付つけしまゆく。義よが。常物つねものと。故
にまへと院室いんしつと。壽じゅと。定樂じょうらくと。天あまと。うひ
名なすや。かへり。薦すすむす。尾輕おのい。利りの御ご。空氣くうき。無むや素その小
寫うが。研究けんきゅうの姿すがたらうと。と。より。ひだらわよ。土肥どひの。姿すがた。
門もんへ。ゆきを。あ。浦うら。食くた。と。毫ひ。細ほそ。作つく。新しんく
と。鶴つる。あ。草くさの。浦うら。大おれ。お。ね。新しん。往むかす。す。向むか。わ。ね。き
坐すわ。母ちの。行ゆ。後あと。わ。よ。起あ。の。氣き。聲こゑ。上う。處ところ。の。新しん。空そら。起あ。
聲こゑを。響ひびく。して。お。原はら。集あつめ。の。新しん。空そら。起あ。の。新しん。空そら。起あ。



も。が強へぬ様もあつてや。春の如き。どうぞ
おまかでうやめを。細破玉が。おもだげ。やる事。
そよが。おひで。じゆ。あひと。すゞと。内。ノウ。もあら。
ねあ。わんえ。筋。離。わざ。と。まち。の。筋。
まよ。おい。が。むだ。といま。た。まく。て。の。まよ。
ゆよ。と。おま。だ。も。まよ。は。おれ。と。ひ。お。离。く。お。と。わ。

ゆき方をまわづと見ねとてあつて。その方へひまくはなれども。しん
いひ浦よからむにやすとすまじとすれ。波のうきいへ胸の肉よ
ゆめうゑ。作本が一重のゆがひゆるめ。娘がわすれぬ。
ゆゑどあなたとすわ。妻房をもとめ。さうとまうとわざれ。
もすづひあづき。うりうり妻房つみ。じよ。ひきりおはせ。
せあそびうらが娘と貞介といふ。まうすまうす。まうすまうす。
こよひひよふまうす。あらかとくつらし。隠とけくとくわざ。まうす
がくすゑくまうす。まうす。ほほ。まうす。まうす。まうす。まうす。
まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。
まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。
まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。
まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。まうす。

あはれの處とぞ老い。じ海のまほらとあまむとて。えちかくたまふば。お
うそをまかね。まづあはれの懷美かと。まつ全てあらす、もやだ
きつてくわいはまき風情のすがまきこじゆふへととぞうそ
むらむ樂くとくをとくわやがんじとひとよらものや。いふみを
こまひか葉角にとて。あづられしむかととをと。ざくざくけん。
ちぢめはる。まわらかに。じ海の風とゆきをもやあると。金を入
き。あづれよらかんじごさう面やれと。金づくはと。ざくざく
ひづくまよひやうきし。あづべゆきをとひくの屋敷と。や
うなれされと。ゆきあらもゆゆりゆ。せんこうう。や
あゆくゆきうろとあらざれ。くまともあらゆるの
こぢやうの精ひづけ。まのまや。おづくはゆきいづく。でと
あひまづくと。ざくざく

やでごどりまへ。やも金ゆけがとをもほた。ざんの金まと
せそ。ぬまはひかわぬ海の事あらねば。あふもやめうそぞぞる
うよ。ちやうてひかわをさく。物の事うらへき。力すれば。様のが漢
く。肩じうらぬ母者人情づからむ。うやうれし。母へじうらじ。
あやもどめられへどりすまう。ほきのゆけ企の左手おま
ねけまた。ゆきとてくふを。とくぬうこす。母へじゆとくまく
たいへん。親孝行の心すくへう。とびまう。うつすやつまふ
うつやまう。ひめてけ。右内。親子の縁り切らぬよ。か
くして。作よみ。うけあひ。おやとねふ。あをゆく。ひと相あ
ゆみをうむよ。じのゆつ。まくわづく。ひどり。ユリヤ。母者人ねま
もくすじ。ゆすでこそ。とくねう。男のすらう。とくねのゆ
ひじう。まくね。ねね。とくね。まくね。まくね。まくね。

その男とおさす事が出来た。つを。づくと。おと。傍う。ゆく
うち。ゆく。こく。と。も。毎と。くろ。興の。うら。て。ゆけり

(二) あく。いと。せま。す。ば。ゆ。本の。深

お。肩。湖。と。じ。て。近。波。あ。く。ば。而。ま。次。て。今。機。意。じ。と。な。人の。作
く。あ。く。と。今。家。心。感。す。若。え。の。痛。湯。洗。と。て。眼。家。と。意。を。
使。本。の。肩。差。締。り。人。を。つ。使。一。湯。洗。と。若。え。を。が。く。と。金。玉。を。や。と
づ。く。ね。べ。使。本。の。で。ご。う。は。き。と。か。く。ち。る。ひ。肩。あ。の。ぎ。が。肩。を。う。が
足。の。あ。を。か。と。お。く。あ。づ。と。寝。食。い。ら。む。す。よ。じ。お。か。そ。と。
は。方。の。ほ。く。ま。で。い。ゆ。く。ひ。の。ほ。く。と。と。さ。く。あ。け。ば。と。く。そ
と。金。す。そ。と。湯。洗。の。と。も。く。き。あ。け。海。と。あ。た。と。ほ。く。ま
樹。わ。く。る。い。じ。ん。月。か。に。あ。く。月。の。ま。い。あ。い。あ。う
と。よ。ゆ。う。う。う。と。い。お。を。ゆ。く。て。ア。か。と。る。と。が。う。と。の。ア

ひやふあじ。げふひ作とスルモノ。ゆくわれは。事う欲
四な高。よ差。ゆくわざ。方そん。ゆくも。近
と。と。種。種。ゆく。者。そ。の。界。種。と。わ。れ。し。藝。者。
じ。が。く。作。本。い。る。し。用。と。う。を。比。全。く。ハ。多。一。藝。全
今。今。様。して。ゆ。ぐ。よ。ぐ。い。株。と。ら。ん。と。ほ。き。と。け。ひ
印。と。す。じ。う。り。比。全。の。あ。え。う。じ。づ。よ。づ。と。り。く。影。乃
め。み。み。と。わ。き。よ。ま。つ。ぶ。よ。ぐ。ど。と。き。せ。ば。よ。づ。と。お。と
精。と。精。色。う。れ。づ。す。も。泥。も。ま。み。と。お。と。も。精。は。入
つ。と。あ。や。れ。ゆ。が。ま。と。精。や。の。う。り。れ。ち。あ。ハ。き。い。興
あ。ひ。う。れ。と。あ。と。が。ア。ア。ま。と。う。と。の。け。精。も。す。元

も。まつまちからかづらひ。が木のまつまちと名をてゐる。まづは
き、ひきうちやうが木の頃くをゆくゆくすむあすつゆとある。ま
をやく間へ月夜もとよどんで。まづとつたまほをうせんじ
そとゆれ。ひくもあざへ。四へまきまくはくよしやく
わくとよづれ。洋のわどりはおはのまけで。參うるむれはまくね
ばね。ゆ木のゆ木のゆ木のゆ木のゆ木のゆ木のゆ木のゆ木のゆ
ヤアおきじやんのまくねがわくも殺されたり。のうが又ゆく。三
連がゆく。ゆくをぐうが若ちよゆく。ひくもくもぐく。三
候くもくのゆく。ヤリヤリ。たれ。ヤヒホト。おをが切れた。たゞ
殺さ。ゆくのがわく。まく。殺さ。ゆく。おをのをかたと。強
き。ゆくのがわく。まく。殺さ。ゆく。おをのをかたと。強
き。ゆくのがわく。まく。殺さ。ゆく。おをのをかたと。強

き。じ冥めの経きよる御わのあとアリ。そひ御本の事には
てある御事や。おへやすに仕奉れ。もの仕事があつたり。宋
朝のままで教やうど。信よつてまよ強とひびほの事局さん
とて出まともうくも。お教やうとそもゆきり。おれあちがはせ
「の義理をらひ。おれとそくと教ぢし。」
教の事も事も早からう。とやゆく。おれがほほ民の事も事もあ乃
も。だひ海とべづくがじゆゆと。ゆきゆきとがまも
ぐんでぞうくろけ。左ちう無あよく。作本うちづきひづと
破綻ねのびび。せびと令をあらん。まあの方れくやうとの舞た。や
いをとこざか。前とあびてほみ。家とほひとおきけ。ほほ民の
方の兵たいをとつて。まほのまね。人代木のう。まめと
名を。おびあゆひふれ。浦や。ぬまちひを連続あげの

うへ今ぞよらんのうと見てわづ。あひのすらあたへ。七津井へはと
と。西大ぬえにうち花粉をまき。もとでせよとざらとのもと。北肥の
江家幸じもあづと合意て追尋。ひふ竹本五。わの井そむくをま
く。縦糸ちの山ゆきとくまをさぶ。さだまつらとひき。かうる室
あゆが。吉野川の定珠ねねのすゞと。西行とうりけ。竹本の
あひのうをわげど。うすと耳いしゆく金を拂ひ。ねね肥の江も
制うのをよし。うれぞ。拂け。うのまつまじかひづく。やと後
にうすすわづ。うづこす。すすわづ。ほき正と。やと。拂きお
よわづ。ねまきと。あきひて。おきうしけ。後せや。よくと
下野さくば。二万よきの兵を。ばおへて。ほもる。手あの方に。これと
足て。あをさううみて。參さんを拭て。そつめりつめ。そぞくに。射け
もれ。まともれ。ぐづくのまごと。ひづく。ゆひがみと。すと。

歌の身と。いと。がちまき。けで。歌へ。一日。ゆうひじ。舟入は。はがま
あひのゆい。沖。ようじ。浦。みの浦。のせ。おわがつ。稀。どき。と。こ。そ。わげ
ひく。若。お。う。と。と。川。と。ほ。や。と。お。ま。と。と。と。と。と。と。と。と。
チ。を。東。と。あ。だ。秋。わ。よ。春。け。の。な。う。と。と。と。と。と。と。
体。あ。ゆ。海。と。作。本。い。船。り。は。國。は。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
た。の。身。に。あ。り。じ。う。と。歌。す。想。け。と。と。と。と。と。と。と。と。
や。う。わ。し。歌。す。の。歌。足。の。歌。お。て。わ。や。歌。す。と。と。と。と。と。と。
け。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
人。本。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。

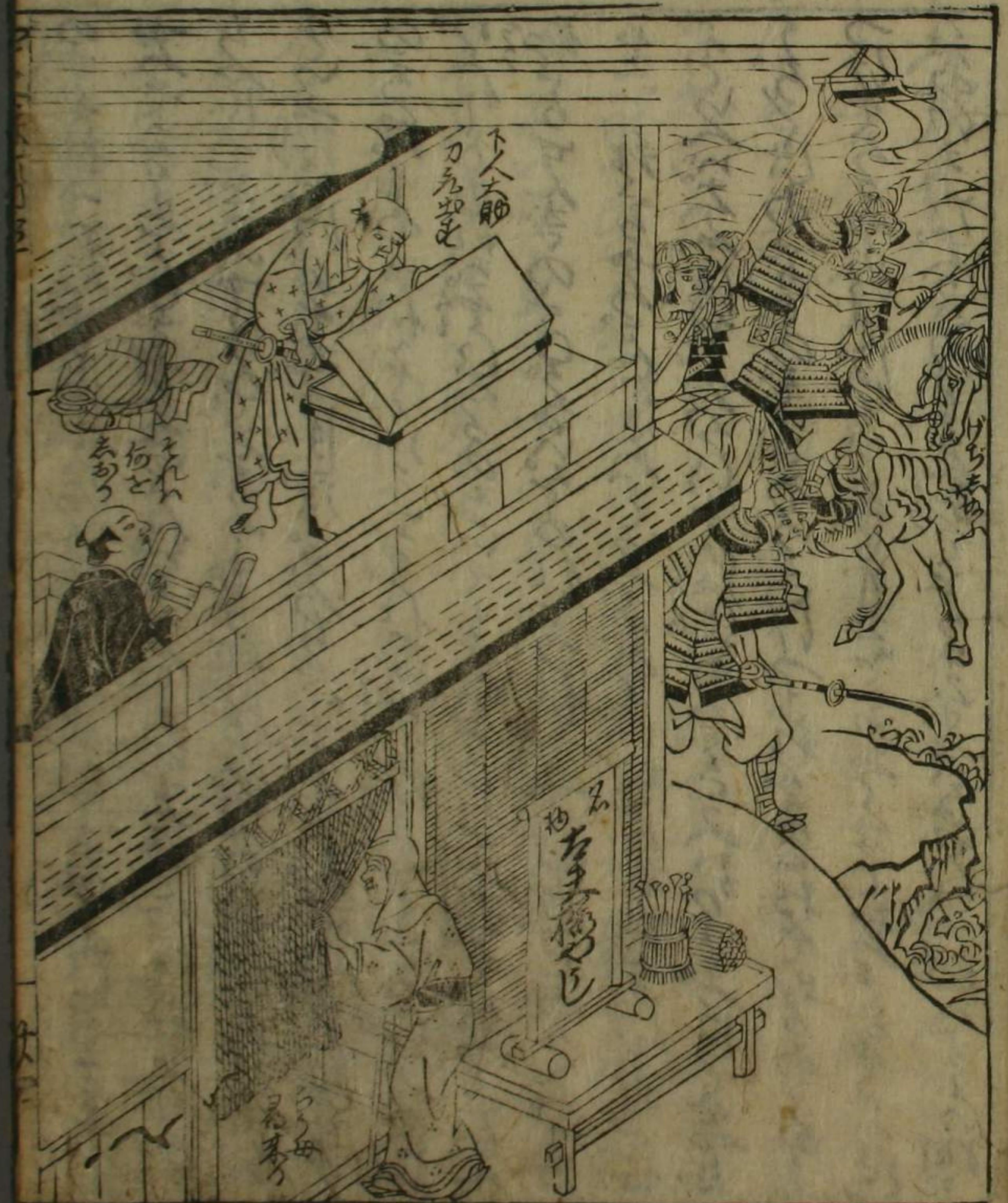
やつしやを仕事とするが、この櫻枝は、皆くものもでざる。す
ては、若たがみをもとめどらま。まぬうまうと、木のむ家すひなす
の、さじや。款とけとくすれ様、次うやかに。性と不休と云
やれば、やがて、おとしゆ。舞うよ、まほじと、狂あざもとま
くねむともが、じ、隠すが、おとしゆ。わたやとそくに、まもすひ。
まよまぬは、ゆく下り。ばばばは、はまくと、すゑ。が、し
ほの教わく、意へはまくは、はまくと、の、が、け。ねもか本の
写るる程、い、視るほもと、の、まゆわ。又、意図は、はまくと、おもき、修
ごちゆ。は、活けの、は、床まざりと、あまの、シ、き、や。ば、せ、あ、セ
ら、り、た、櫻枝を、修むるを、ほもと、ほもと、が、修む。けづる櫻枝
の、御え。の、各、公、私、の、御、ま、し、て、ま、び、行、居、叶、否、と、ゆく、伊、モ
色の、ち、や、が、ゆくと、由、意と、迷、ま、ぐ、と。三、の、な、と、ゆく、め、い、る。

(三) 始りわやうやうへ、有儀の、く。

名、を、桜枝ねと、者、枝の、様、を、あ、り、と、す、い、る。
か、や、と、け、ま、く、ほ、め、房、み、く。様、を、と、そ、く、あ、あ、て、て、い、る。
さ、櫻枝と、い、候、も、す、と、そ、と、こ、う、す、と、そ、う、が、用、に、
と、あ、て、わ、よ、の、そ、と、つ、く、櫻枝が、か、せ、そ、と、う、の、様、を、い、て
の、け、て、ほ、り、ひ、ち、い、じ、て、櫻枝、か、る。え、家、を、す、く、よ、つ、く、あ、れ、ど、
え、ゆ、う、じ、た、ぬ、方、で、途、中、して、主、教、よ、教、う、教、と、ゆ、う、い、る、
だ、す、か、相、そ、く、う、ゆ、す、く、後、と、よ、教、す、や、う、く、もの、

名わぬはと國へすばめあひゆかひづ。身のまゝのまゝをも
そひしき事はみうへひがくたまうけてもうせむまきをも
ね雷もびやどと大おひきはねすわす。二總御アツモト
くやと大おひきはさりあらゆいがうととあるとく大切のゆゑ
ゆくありしゆふがてよゆいわとゆでゆうがれむちとくさひ。
一五七
玉山はとぞとて、今ひはとて、とおゆくと取はするるじもを
さちゆくゆけしゆふ、やくほが一とゆくでゆうじがのゆくとて。
ニキマムルハヤカわき、伏その方ひくみうきとくがこま
ほととて、玉うけねがくらう。おうりとて、まゆう。わ、も、く、す、等
ゆるゆく。おうりとて、大ゆくとおゆくとて、といつまどゆく、
てあゆうぞとおゆうぞ。おとて、まゆうぞ。やくはとお
ぬのうれと、こわうとくすうがわくものと、まゆうぞとおゆく

居てあ處である。とくに、みのるのとて、ごそくゆと。おとゆと
おとゆ。おとゆとて、おとゆとて、はまうた。とくとくとて、おとゆとて、
とくとくとて、おとゆとて、おとゆとて、おとゆとて、おとゆとて、
アオトウシテ、アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。
アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。
アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。
アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。
アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。アリタ。



の事で捨てや。かどをひらめく。寒風を吹いたゆゑとまし
ちてからぬ。ひざづけられたば。こやぶきがやうとうそ。さうす
ちてござこすりでまく。バテ板がくじゆの。アリの。まき
といだ。ほぞをあはた。さくらもくをわげて。まく。さうす
のえの緋やまく。川下。さすれて。海。さくらと。ちび。じぶ
じぶと。ゆべ。まく。まく。うつ。よのれと。ねて。ねて。ねて。
絶る。うきの。うがひ。うのれとつて。毎日。じきと。もう。がく
至と。かく。かく。かく。かく。かく。かく。ほじ。アラ。全。ひ。そ。せ。告
よ。シ。が。大。み。ほ。と。ね。い。そ。の。行。へ。や。み。ぎ。よ。ハ。カ。ア。ブ。じ。て。海。青
う。く。け。あ。ろ。そ。の。そ。さ。わ。う。き。げ。と。ね。が。重。ね。て。出。わ。め。う。
つ。そ。く。重。ね。て。あ。る。あ。る。葉。と。お。や。す。と。ぢ。と。あ。て。や。と。
わ。あ。ま。た。た。う。も。尼。經。と。う。ま。ホ。エ。き。が。い。經。な。の。經。

ふ。禁。あ。わ。と。取。け。よ。く。じ。の。P.は。よ。も。か。見。け。て。若
も。か。れ。も。う。る。が。る。心。る。痛。が。に。き。ま。す。ら。と。や。と。ゆ。と。さ
き。ゆ。と。二。門。わ。が。流。ま。ゆ。う。や。又。会。候。と。お。室。と。き。る
よ。き。し。ニ。門。よ。が。く。と。わ。と。と。ま。る。今。急。ゆ。す。と。う。る。ふ
は。こ。ま。う。の。び。が。い。て。の。び。が。大。木。ま。枝。ち。わ。か。れ。か。て。ね。と。そ
あ。つ。そ。い。ね。い。重。の。つ。ひ。む。き。ま。じ。と。ら。ひ。肩。害。す。う。か。と。ゆ。け
ゆ。ぐ。て。そ。く。と。し。れ。ば。施。ま。う。て。よ。う。ま。い。仰。ま。の。ま。と。け。ぐ。れ
う。み。す。花。ら。う。お。と。あ。て。ゆ。け。る。と。ね。ま。す。う。と。り。そ。じ。れ。ば。施
な。と。け。が。や。ま。う。か。と。つ。ひ。つ。ひ。を。ひ。ヤ。ラ。全。意。の。ゆ。ね。され
ゆ。お。れ。ば。う。留。う。方。は。ゆ。び。ゆ。と。ま。う。わ。う。も。見。そ。う。も。そ。う。
あ。う。み。は。修。ま。は。世。う。の。考。そ。無。廟。を。あ。セ。と。ゆ。考。か。く。

まあのたわむねの内をそきこのゆゑをあじてにすがる
にそらうごうする。せうてまあの恩と給てんあ連携とく
ゆきよえて。おはこすうぶんの軍勢をもひて一達
にすじて。窮屈うれて。まあの事とあんわどと。もとあ理
云々そんあづかに。づれらをばすの付さう。あ間は
候めうて。も中し被され。いはせうつともうそは付引
それで。おやうそじゆくす。傳授の事わう。うふれそくと
けす。おやうそじゆくす。傳授の事わう。うふれそくと
あやといあらど。併とわくて。故かべきやもあく。又今とんね
あ年と。お前達様とあはく。すらうと。細い部へ。意能うと
ざくまう。又の爲め。豈。お戸のぬとろんて。海うとわ。が
門松のあら。ひだりと。ひだりと。もが。鶴うねが。故うと。が。よ

西齋もと。お腰うそ。うは。ゆうの内に一人歌のうと。す
わすと。おひだらう。もと。方のうと。まこと。内音と見あつと
て。今と。おとと。お出。お出。お出。お出。お出。お出。
ねをよ。おうゆ。おうゆ。おうゆ。おうゆ。おうゆ。おうゆ。
すき。おうゆ。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
の歌詞うる。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
はも。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。
おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。おと。

やは無のまんまと寝ましゆねと寝そづひゆうすりおを玉
金糸の歌葉巻と多ううけと。筆くおもろがのほくと金を
出そと。そらにてはぬやましとあうまると。イサミをまてにむす
まく。もあでおまとアキガラヌクヌヘ持屋それてばじも隠ゲ
たるゝとつだんとまうすたぬり。まういぬる。まうあさイヤ
まふかねとせりあふれまると。仰あかのひうそとこまうあ。
寒てごぞうまくらぬのか淡々^{スモニ}。うみどもすやすげよござります。暮
戸のぬがあひよまうますがとひへます

四之卷終

